

福祉

こんにちは。前回の「高校で福祉を学ぼう」でデビューした介助犬の「ふくぼん」だよ。今回は、高校で福祉を学ぶ生徒や保護者、福祉に関わる人たちにインタビューしてみたんだ。そうしたら、その人たちが福祉への思いを持って日々活動していることが分かったんだ。きっと君たちの参考になると思うから、みんなで読んでみてね。



千葉県高等学校教育研究会福祉教育部会
マスコットキャラクター ふくぼん



感動・感謝・希望—新3Kの仕事—高校福祉教育に期待すること—

星野 進

この世に生を受けた全ての人々は、生涯平等に生きる権利を持っています。「福祉」は、皆が幸せに生きることを目指します。

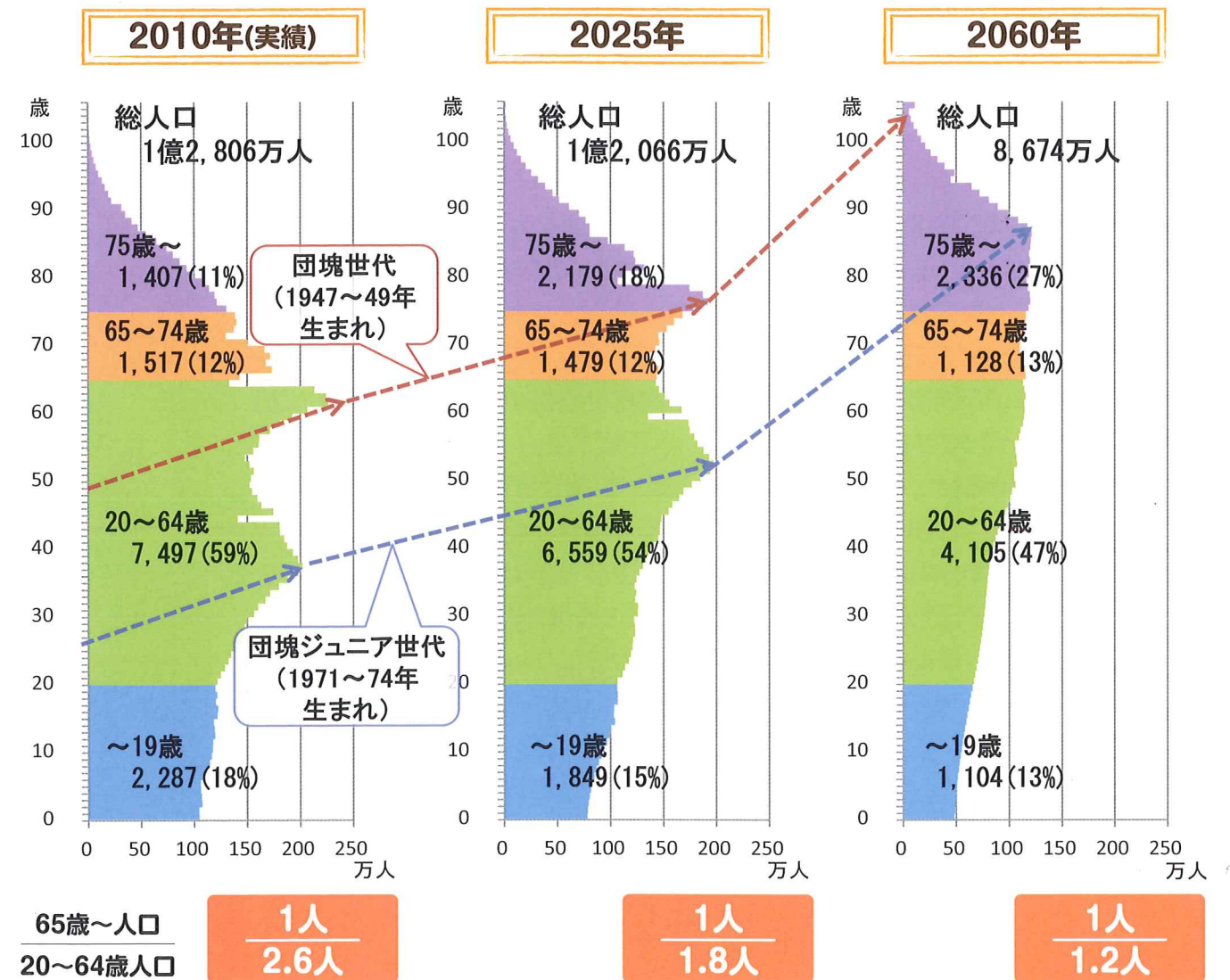
私たち施設職員は、ご利用者様一人ひとりが明るく輝く人生と「あなたらしい生活」ができるよう最善を尽くし、共に生きる施設でありたいと考えています。そして、利用者様が自分らしく生きるために何ができるか、安心して住める場所であるために何が必要かそのことを考え行動する努力をしています。

福祉を学ぶ生徒の皆さんには、「技術以上に人間としての心のあり方、忍耐と努力、誠実であること、自分の成長のために常に課題を見つけ努力していく人」を目指して欲しいと思います。社会人に求められるものは、「自分で課題を持って努力すること、今ある仕事、今与えられている役割を精一杯やること」が大切です。

目標に向かって頑張る姿にいつも新鮮な感動を覚えています。3Kの職場と言われますが、私は福祉の現場を3K「かんだう、かんしゃ、きぼうにあふれる」仕事だと誇りに思っています。皆さんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

社会福祉法人聖心会特別養護老人ホーム明尽苑 施設長
一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会理事

人口ピラミッドの変化



(出所) 総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）：出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）



日本の人口構造の変化を見ると、2010年では1人の高齢者を2.6人で支えている社会構造になっているよ。

少子高齢化が一層進行する2060年には1人の高齢者を1.2人で支えることになるみたいだよ。